

八幡市男女共同参画プランるーぷ計画Ⅲ 後期プラン
パブリックコメント募集結果について

- | | |
|-----------------------|----|
| 1. 意見等の提出者数 | 3人 |
| 2. 意見等の件数 | 7件 |
| 3. 上記のうち、計画等の案を修正した件数 | 2件 |
| 4. 意見等の概要及び市の考え方 | |

No	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	政策領域Ⅰ 基本目標3 「働き方や職場環境の見直しを進める」	男性も家事・育児に参加しないと女性は働けない。男性育休を利用したことがある男性の目標値を男女同数に引き上げ、推進を進めてほしい。	休暇取得に向けて、法制度の周知・啓発を行います。
2	政策領域Ⅰ 基本目標4 「家庭・地域での男女共同参画を進める」	男性が育休を取得するような制度で保障すれば、女性の負担は本当に減るのか疑問である。負担が極端に偏らないよう男性もワンオペで育児できることが必要なのではないか。	家事、育児等が性別にかかわらず、家庭内における共同責任であるとの認識の浸透をはかるため、家庭における男性の参画促進にも努めます。
3	政策領域Ⅰ 基本目標4 「家庭・地域での男女共同参画を進める」	子どもの見守りで、朝の登校時に地域の方が見守ってくれているのがありがたい。	計画に基づき、子どもの見守り等、地域の防犯活動における参画促進に努めていきます。
4	政策領域Ⅱ 基本目標5 「暴力等を許さない地域づくり」	女性弁護士相談が開設され、相談窓口が増えたことは良かった。相談機関や相談窓口の認知度が低いのは残念だ。	誰にも相談できずに悩みを抱えている女性の潜在化を防ぎ、相談につながるよう、相談体制の充実及び、相談窓口の周知に努めます。
5	政策領域Ⅱ 基本目標5 「暴力等を許さない地域づくり」	女性相談の場所や女性アドバイザーだよりの配架場所を知らない。	ジェンダーに基づくあらゆる暴力を許さない意識づくりのため、配架場所を増やすなど、周知・啓発を促進します。

6	<p>政策療育Ⅱ 基本目標5 「暴力等を許さない 地域づくり」</p>	<p>男性は「人に悩みを相談するのは男らしくない」などというジェンダー的な考えもあって、DVを受けていても人に打ち明けられないことが多い。</p> <p>暴力を振るうのは男の方で、女性が男性に被害を与えることはない。あるいは、男性が被害を受けたとしても男なら何とかなるだろう、といった、甘い固定観念による認識が、社会や行政機関にも残っている。</p> <p>それで、相談窓口も、女性専用はあるが、男性向けはそう多くない。</p>	<p>国や府等でおこなっている男性相談窓口の周知に努めます。</p>
7	<p>政策領域Ⅱ 基本目標6 「人が人として安心して暮らせる環境をつくる」</p>	<p>パートナーシップ宣誓制度は多様な家族のかたちを社会が認めていくうえで大きな前進だった。現行制度では法的な補償がなく、当事者が生活上でまだまだ不便を感じることも多いのではないかと思う。今後は言葉や形式だけではなく、法的にも安心して大切な人と生きられる社会になってほしい。</p>	<p>性の多様性についての正しい理解や認識が得られるよう、関係部門とも連携し、理解促進に向けた研修や講座を行います。</p>